3課題番号研究課題名研究代表者評価結果15107003真核生物染色体DNA複製フォークの分子ダ
イナミズム杉野 明雄 (大阪大学・大学院生
命機能研究科・教授)B

(意見等)

当初目標の全てを達成することは困難である。達成可能かどうかを別に、1つ1つ丁寧にやることも重要と思われるが、材料や対象を広げず出芽酵母に絞って、試験管内での DNA 複製再構成系の確立に期待したい。

4	課題番号	研究課題名		研究代表者	評価結果
	15107005	人工環境に対する生理反応の多型性に関する	勝浦	哲夫(千葉大学・工学部・	В
		生理人類学的研究	教授)		

(意見等)

新しい分野を開拓しようとする姿勢は評価できるが、目的に沿うように計画を整理することが必要であるう。すなわち、単なる変異ではなく生理的多型として分類できる基準を厳密に設定したうえで、総花的でなく有効な項目を絞り、目的に応じた被験者の適切な選び方をし、データの適切な統計処理をすることが望ましいのではないか。そして、人工環境に対する人類の適応能の発現機序とその意義を具体的に明らかにしていただきたい。なお、成果は評価に耐える複数の雑誌に発表していただきたい。